

少数台数のリコール届出の公表について (令和2年2月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和2年2月は12件の届出がありましたので公表します。

1. 届出者：キャタピラージャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
2月6日	外 2979	車名：キャタピラー 型式：YDS-HE8 他 通称名：950MZ 他	21	平成28年9月6日～ 平成29年2月20日
不具合の部位等	動力伝達装置において、トランスミッション内のリトラクションスプリングの加工処理の指示が不適切なため、当該スプリングが破損し変速が円滑に行えなくなることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとクラッチ等が破損し、最悪の場合、走行が出来なくなるおそれがある。			

2. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
2月12日	4665	車名：トヨタ 型式：QDF-GDH206V 他 通称名：ハイエース	4	令和元年8月5日
不具合の部位等	四輪駆動車用トランスファのリングギヤにおいて、熱処理が不適切なため、ギヤの強度が不足しているものがある。そのため、急発進等の高負荷運転を繰り返すとギヤが破損し、走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月12日	4666	車名：トヨタ 型式：ZBC-MUM1NAE 通称名：SORA	27	平成28年9月14日～ 令和元年7月12日
不具合の部位等	ワンマンバスの中扉開閉機構において、開閉制御プログラムが不適切なため、走行振動等により扉位置検出スイッチの端子に生成された摩耗粉の酸化によって接触抵抗が増加し、扉の開閉状態を正しく検出できなくなることがある。そのため、停車直後等の特定条件下で、意図せず扉が開くおそれがある。			

4. 届出者：株式会社タダノ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
2月14日	4662	車名：タダノ 型式：SC-TR120 通称名：PITAGORAS	1	平成18年9月6日
不具合の部位等	補用品として製作したホイール・クレーンの原動機において、ターボチャージャー取付けナットの締付け作業が不適切なため、当該ナットが正規トルクで締付けられていないものがある。そのため、ターボチャージャー取付部から排気ガスが漏れ、異音が生じるおそれがある。			

5. 届出者：三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月18日	4656	車名：ニチユ 他 型式：211AC 他 通称名：トランサー	50	平成12年10月3日～ 平成30年10月9日
不具合の部位等	バッテリー式フォークリフトのアクセルペダルスプリングにおいて、外部スプリングの表面加工処理が不適切なため、使用過程において錆が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該スプリングが折損し、最悪の場合、アクセルペダルが戻らなくなるおそれがある。			

6. 届出者：三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月18日	4657	車名：ニチュ 型式：254AA 他 通称名：トランサー	7	平成30年8月29日～ 令和元年10月17日
不具合の部位等	<p>運転者席ディスプレイ制御基板内のコイルにおいて、固定指示が不適切なため、走行時の振動により当該コイルの内部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、コイル内部の導線が断線し、電動機が停止し走行できなくなるおそれがある。</p>			

7. 届出者：三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月26日	4671	車名：ユニキャリア 型式：YDM-B14 通称名：SL7 他	13	平成28年12月1日～ 平成30年5月10日
不具合の部位等	<p>スキッドステアローダーの静油圧式無段変速機（HST）において、設計時の作動油の選定が不適切なため、高荷重環境下で作動油の粘度が低下し、HSTモータ内のローラ等が摩耗・損傷し異音が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、HSTモータが回転しなくなり、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。</p>			

8. 届出者：リープヘル・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月26日	外 2988	車名：リープヘル 型式：不明 通称名：LTM11200NX 他	9	平成27年6月1日～ 平成29年7月3日
不具合の部位等	<p>クレーン用台車の操縦装置において、製造時の指示が不適切なため、ナックルの肉厚が不足しているものがある。そのため、クレーン作業の際に当該部分に亀裂が発生し、最悪の場合、ナックルが破損して、正常に操舵できなくなるおそれがある。</p>			

9. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月27日	4679	車名：いすゞ 型式：QFG-CYL78B 他 通称名：ギガ	17	平成28年1月13日～ 令和元年10月23日
不具合の部位等	圧縮天然ガス（CNG）を燃料とする大型トラックにおいて、主止弁の制御が不適切なため、燃料充填時に振動が発生し、燃料パイプに亀裂が生じるものがある。そのため、充填の繰り返しにより亀裂が進展し、燃料が漏れるおそれがある。			

10. 届出者：ビー・エム・ダブリュ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月27日	外 2993	車名：BMW 型式：ABA-JF44M 通称名：BMW M5	18	平成31年2月4日～ 令和元年5月27日
不具合の部位等	トランスミッションワイヤーハーネスにおいて、取り回し指示が不適切なため、トランスミッションとの隙間が小さくなっているものがある。そのため、トランスミッションの熱により被覆が溶損し、最悪の場合、短絡すると駆動システムの警告灯が点灯、エマージェンシーモードに移行して走行不能となるおそれがある。			

11. 届出者：ビー・エム・ダブリュ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
2月27日	外 2995	車名：BMW 型式：3BA-HF20 通称名：BMW Z4 sDrive20i	1	令和元年7月25日
不具合の部位等	ヘッドライトコントロールユニットにおいて、工程管理が不適切なため、基板の組み付け時にセラミックコンデンサが損傷しているものがある。そのため、車両振動や熱負荷により基板が短絡し、短絡が複数回検知されるとターンインジケータを含むヘッドライトが不灯となるおそれがある。			

12. 届出者：株式会社花見台自動車

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月28日	4638	車名：花見台 型式：HDD220 他 通称名：ダンプセミトレーラ 他	6	平成25年11月27日～ 平成28年12月19日
不具合の部位等	<p>トレーラの制動装置において、スプリングブレーキチャンバのプッシュロッドの取付指示（取付面からジョイントピン中心までの距離）が不適切なため、プッシュロッドが長めに取付けられているものがある。そのため、制動力が十分に発生しないおそれがある。</p>			

【参考】

●令和元年2月のリコール届出総件数

	内 訳		
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	25 (-5)	17 (-7)	8 (+2)
輸入車	11 (-5)	7 (-4)	4 (-1)
計	36 (-10)	24 (-11)	12 (+1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (令和元年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	30(+11)	23(+8)	53(+19)	4,894,225(+4,646,210)	77,234(+67,120)	4,971,459(+4,713,330)
5	11(-5)	18(±0)	29(-5)	95,608(-207,619)	30,418(-49,542)	126,026(-257,161)
6	20(-2)	19(+8)	39(+6)	1,408,643(+1,068,517)	63,757(-78,180)	1,472,400(+990,337)
7	15(±0)	15(-4)	30(-4)	143,548(+102,098)	24,681(-187,850)	168,229(-85,752)
8	13(-1)	13(+2)	26(+1)	221,768(-71,739)	183,262(+125,251)	405,030(+53,512)
9	15(-1)	26(+12)	41(+11)	702,029(-207,931)	100,233(+84,236)	802,262(-123,695)
10	27(+7)	10(-6)	37(+1)	373,783(-929,073)	35,412(-18,548)	409,195(-947,621)
11	21(-11)	21(+6)	42(-5)	670,401(-2,075,215)	40,587(-61,227)	710,988(-2,136,442)
12	13(-6)	5(-8)	18(-14)	51,556(-240,095)	2,619(-126,613)	54,175(-366,708)
1	19(+1)	11(+6)	30(+7)	666,434 (+503,287)	18,502 (+17,030)	684,936 (+520,317)
2	25(-5)	11(-5)	36(-10)	468,115 (-103,845)	4,487 (-30,999)	472,602 (-134,844)
小計	209(-12)	172(+19)	381(+7)	9,696,110 (+2,484,595)	581,192(-259,322)	10,277,302(+2,225,273)

※ () 内は、対前年同月比